



車線逸脱交通事故の発生状況

令和7年中



1 車線逸脱交通事故の発生状況

令和7年中の車線逸脱交通事故（事故類型が正面衝突・工作物衝突・路外逸脱の人身交通事故）は、前年と比較して発生件数及び負傷者数とも増加しましたが、死亡事故は減少しました。車線逸脱事故の発生割合は、全人身事故では4.3%（3,730件中162件）でしたが、死亡事故だと36.8%（38件中14件）と高くなりました。

【車線逸脱事故発生状況】

（令和7年中）

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	162	14	14	45	175	220
前年	133	20	20	34	133	167
増減	29	-6	-6	11	42	53
率	21.8	-30.0	-30.0	32.4	31.6	31.7

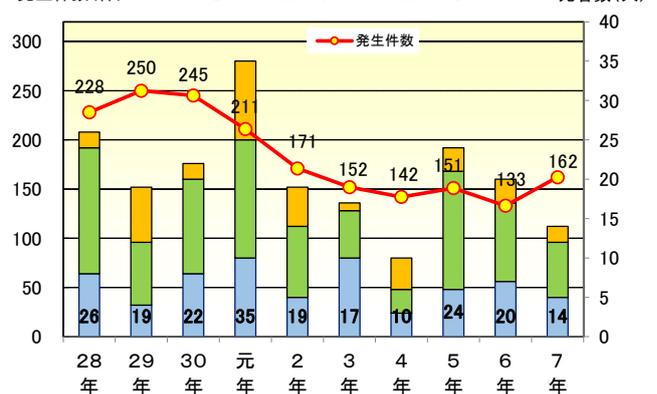
2 車線逸脱事故の発生推移（基礎データ平成28年～令和7年）

(1) 車線逸脱事故の発生推移

車線逸脱交通事故の発生推移（過去10年間）は、令和元年が死者数がピークとなっており、以後、減少傾向にありましたが、令和5年の死者数は過去10年間で最少だった令和4年から大幅に増加しました（令和4年→令和5年の増加率140.0%）。

また、全人身交通事故に占める車線逸脱交通事故の割合は、発生件数では2.9%～4.3%で推移していますが、死者数になると27.0%～53.8%（過去10年間計498人中206人、41.4%）と高い割合を占めました。

【車線逸脱事故発生推移】



区分	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
交通事故発生件数	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286	4,117	4,033	3,785	3,730
交通事故死者数	71	51	56	65	44	42	37	47	47	38
車線逸脱事故発生件数	228	250	245	211	171	152	142	151	133	162
占める割合	2.9	3.3	3.6	3.7	3.8	3.5	3.4	3.7	3.5	4.3
車線逸脱事故死者数	26	19	22	35	19	17	10	24	20	14
占める割合	36.6	37.3	39.3	53.8	43.2	40.5	27.0	51.1	42.6	36.8

(2) 月別発生状況

過去10年間の車線逸脱事故の月別の発生件数を見ると、1月が最も多く、次いで12月が多くなりました。

発生件数が冬季に多いのに対し、死者数は5月、7月、9月が多くなりました。

【車線逸脱事故月別発生状況】

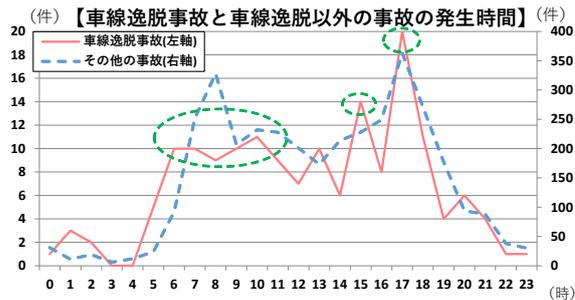


3 車線逸脱事故の発生特徴等 (令和7年中)

(1) 午後5時台の発生が最も多い

発生時間別では、午前6時台から午前11時台、午後3時台、午後5時台に増加する傾向が見られました。

その他の事故は、交通量が多くなる朝夕の通勤・通学時間帯に多発したのに対し、車線逸脱事故は、同時帯の前後にも発生が多くなる傾向が見られました。

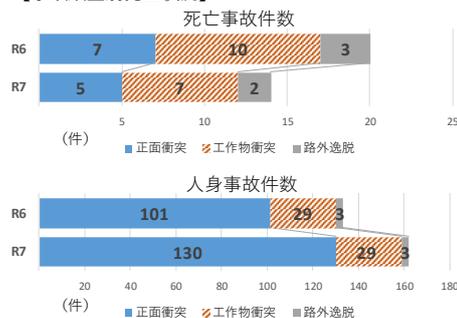


(2) 死亡事故は減少

死亡事故件数は前年比で-6件と減少し、内訳は正面衝突-2件、工作物衝突-3件、路外逸脱-1件でした。

人身事故件数は前年比で+29件と増加し、内訳は正面衝突+29件、工作物衝突±0件、路外逸脱±0件でした。

【事故類型別発生状況】



(3) 前方不注意、操作不適による事故が多い

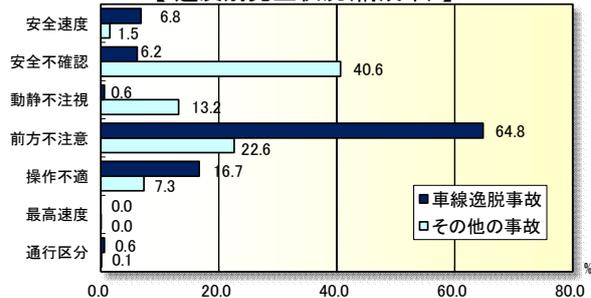
第1当事者の違反別では、前方不注意が64.8% (105件) で最も多く、その他の事故と比較して42.2ポイント高くなりました。

また、操作不適が16.7% (27件) で、その他の事故と比較して9.4ポイント高くなりました。

(4) 高齢者による事故が多い

高齢者の構成率が31.5% (51人) と高くなりました。

【違反別発生状況(構成率)】



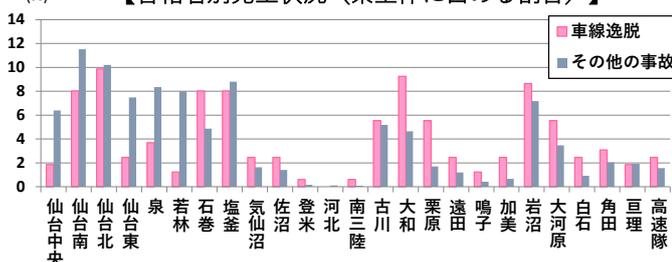
年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	不明	計	うち高齢者
第1当事者数	12	24	10	27	23	20	29	16	1	162	51
構成率 (%)	7.4	14.8	6.2	16.7	14.2	12.3	17.9	9.9	0.6	100.0	31.5

(5) 仙台市以外での事故が多い

管轄署別の発生割合では大和署、栗原署、石巻署、大河原署、加美署などで署別の県全体に占める車線逸脱事故の構成率がその他の事故の構成率を大きく上回りました。

仙台市内6署の構成率は27.2% (44件) で、その他の事故 (52.0%。1,854件) と比較して24.8ポイント低くなりました。

【管轄署別発生状況 (県全体に占める割合)】



(6) 死亡事故率が高い (基礎データ令和3年~令和7年)

車線逸脱事故の死亡事故率(事故件数に占める死亡事故件数の割合)について見ると約1割 (11.34%) に達しており、その他の事故 (0.65%) と比較して、死亡事故率が約17倍となることから、車線逸脱事故は死に至る危険性が極めて高いことが分かります。

【車線逸脱事故とその他の事故の死亡事故率】

	人身事故件数	死亡事故件数	死亡事故率
車線逸脱事故	741	84	11.34%
その他の事故	19,210	124	0.65%

【死亡事故率(R3~R7)】

